



シルバーだより

道標

第 23 号

令和 6 . 1 . 1

理事長あいさつ

2

大分市長年頭のごあいさつ
ボランティア清掃

3

各部部长あいさつ

4

安全・適正就業委員会

委員長あいさつ

5

活動報告

ふれ愛フェスタ

6

趣味の広場

7

互助会会長あいさつ

8

新職員紹介・退職者のお知らせ



謹んで新春のお慶びを申しあげます
本年もよろしくお願ひいたします



公益社団法人
大分市シルバー人材センター
理事長 江藤 郁

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えておられることと謹んでお慶び申し上げます。

**設立40周年を迎え、
これまでの歩みを礎に
シルバーの明るい未来の構築に向け
着実に前進します！**

さて、政府において新型コロナウイルス感染症が感染症法上の二類相当から五類へ見直しが行われ、通常の生活に戻ってきつつありますが、令和五年十月にインボイス制度が実施され、センターが免税事業者である会員の配分金に対する消費税を支払う必要が生じました。初年度から三年間は八十パーセントの控除が可能であることから、セ

ンターが二パーセントの消費税を支払いますが、最近の物価高騰に伴い、必要経費も増え、センターの運営に厳しさが増しております。その対応として令和六年度から事務費の二パーセント増額の改定を行います。また、フリーランス新法が令和五年五月に公布、令和六年秋には施行されるため、会員皆様へ書面又は電磁的記録による事前の就業条件の明示が義務化されます。さらに今後、時期は未定ですが、発

注者と会員との間に契約関係が生じる契約方法の見直しが実施されます。このため、ホームページの刷新やスマホの活用など第二次中期計画の基本目標である「デジタル化の推進」の実現が必須の課題となっております。こうした中、令和五年十一月に、全シ協の金子会長が福岡市でのシルボンヌ全国大会を終え、

当センターを訪問いただき、理事・職員との意見交換会を行いました。会長から当センターについて「理事の方々の熱心な取組、スタッフの皆さんの活気ある仕事ぶりが大変印象的でした。事業拡大、地域貢献に向け更なる可能性を秘めたセンターであると感じました。女性活躍促進、安全管理の徹底などを通じて、飛躍されることを期待しています。」とお言葉をいただいたところでございます。私としては前述した課題等に取り組みしていくことで、大分市シルバー人材センターのますますの発展と明るい未来の構築に努めていかなければならぬと決意を新たにいたしました。

最後になりますが、本年（令和六年）は十一月八日に設立四十周年となる節目の年を迎えることから、令和六年度内に設立四十周年をお祝いして記念事業を実施してまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

理事会あいさつ

あけまして
おめでとうございます

理事長
江藤 郁

副理事長
三好 正昭

常務理事
釘宮 祐一

理事

齊藤 修造
深草 秀昭
都甲 堅治
河合伊津子
幸 義広
吉村正太郎
渡邊 邦治
衛藤 光

洪谷 建治
大野 憲一
宮園 清孝
渡辺 正道
小浦 良雄
高橋 豊文
白石 郁子

監事
薬師寺 寿
仲矢 吉徳



年頭のごあいさつ



大分市長
足立 信也

明けましておめでとうございます。公益社団法人大分市シルバー人材センターの会員の皆様をはじめご関係の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、本年、創立四十周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げますとともに、平素から高齢者の就労機会の創出・拡大に積極的に取り組んでいただいております。深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、我が国では高齢化が急速に進展する中、本市の高齢化率（総人口に占める六十五歳以上の割合）も年々上昇しており、令和五年十月末現在二十八・四パーセントとなっております。

このような中、貴センターでは、高齢者に多様な就業機会等を提供され、高齢者の生きがいや居場所づくりに変重要な役割を担っていただいております。また、地域のニーズにきめ細やかに対応した事業を展開され、今では地域に欠くことのできない存在となっております。会員の皆様には、今後とも「地域の支え手」として、より一層ご活躍されますことをご期待申し上げます。

本市といたしましても、貴センターの取組を積極的に支援するとともに、市民福祉の増進にしっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人大分市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

ボランティア清掃

ななせの火群まつり

七月三十日(日)に第三地区、第四地区、第七地区などの会員と職員が開会式に参加し、七月三十一日(月)には、早朝からボランティア清掃に参加しました。



7/30 開会式



7/31 ボランティア清掃

本場鶴崎おどり

八月十九日(土)に第五地区、第六地区などの会員と職員が開会式に参加し、八月二十日(日)には、花火会場のボランティア清掃に汗を流しました。



8/19 開会式



8/20 ボランティア清掃

「大分いこいの道」芝生広場

十一月十八日(土)に「大分いこいの道」芝生広場のボランティア清掃を行いました。

当日は、大変冷え込み、時々小雨も降る中、第一地区、第二地区などの会員と職員等合わせて七十一名が参加し、四十五リットルごみ袋で約七十袋の落葉や草が集まりました。

ご協力頂きました皆様へ厚くお礼申し上げます。

清掃等のボランティア活動を通じて地域に貢献することは、当センターの大きな目的でもあります。

次回も、たくさんの方のご参加を、心よりお待ちしております。



令和六年に向けて 新年所感



植木・剪定部会 会長
深草 秀昭

(西の台B班)

一、会員一人ひとりの技量の違いはありますが、共働共助により充実した就業の一日となるよう心掛けたいものです。

一、新入会員を多く望めない現状があります。折角長いスパンの研修を経て、就業している会員は宝です。会員各自が自信をもって就業し、積極的にコミュニケーションを図り、十五年表彰を受けるまで頑張る志を持ちたいものです。

一、班長さんは多忙です…。一人親方の集まりですが、安全就業を遂行することが班長の仕事です。言い付けを守ることが会員の務めです。



草刈部会 会長
都甲 堅治

(小佐井班)

昨年は、お盆もないほど忙しい毎日が続きました。お客様には「お盆までにお願ひします」等言われ、週間天気予報を見ながらなんとかできましたが、こんな時に事故が待っていると思ひながら気を付けて作業をしてきました。今まで何回も言いましたが、小石の多いところではネットやコンパネをうまく使い、刈払機はよく切れる刃を使い、機械の回転を上げずに石等を飛ばさないように高めに切るよう気を付けたいものです。

また、年々暑さが増し、熱中症にも気を付けて作業をしなければなりません。気分が悪ければ無理をせず近くににいる人に「ちょっと休むから」と言ってください。絶対に黙って横にならないでください。気が付かないときは大変なことになると思います。というのも私の子が一人暮らしをしていて、夜勤のため出勤して直ぐに気分が悪くなり、救急搬送されたのですが、自宅や出勤途中であれば大変なこと

になっていました。悪いときは遠慮なく申し出て事故にならないように気を付けてください。この一年も無事故で過ごせるよう頑張ります。



福祉・家事援助
サービス部会 会長
河合伊津子

(戸次B班)

年末年始の慌しいなか、常日頃の皆様のご協力に対し、心から厚くお礼申し上げます。

令和五年は、七月十一日、ホルトホールにて、福祉・家事援助サービス部会として初めての研修会を開催し、七十数名と多くの皆様に出席していただきました。お仕事に慣れている方、初めての方にも就業に必要な目的やルール等を改めて学びました。

また、講習会として、家事・援助サービス班は十月十九日、安全・適正就業委員会の幸委員長に仕事の安全について「自分の身は自分で守る」という話に楽しい川柳が加わり、参加者の笑い声に包まれました。実技では、今一度清掃についての実演を行い、道具の扱い等の意見交換を行いました。



剪定スクール



草刈り講習会



手話講習会

福祉班は十一月十七日、大分市障がい福祉課より講師をお招きして「手話の花を咲かせよう」という講習会を行い、手や指の動き、顔の口や表情でコミュニケーションをとる方法を楽しく学びました。さらに、一月には軽度生活班の講習会を予定しておりますので、多くの部会員の皆様の参加を期待するとともに、今後ともご協力とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



安全・適正
就業委員会 委員長
幸 義広
(田尻C班)

安全はまあいいかでは
防げない

冒頭の安全標語は、大分市シルバー人材センターの会員・職員から応募された八十九作品のなかから優秀賞として選ばれた作品です。

この標語は、これから一年間様々なシルバー事業で活用され、安全就業に活かされることとなります。

この他にも、「気のゆるみ大丈夫だろうは危険がいっぱい」と「あなどるな身近にひそむ重大事故」の二作品が佳作に選ばれました。

しかし、何といっても今年度は八十九作品という数多くの応募があったことが会員・職員皆様の安全に対する意識の高さを表していることであり、厚くお礼を申し上げます。

私が今この原稿書きをしている時点(十一月二十七日)で既に十八件の事故が発生しています。事故は、ちよつとした油断

や、ついうつかりした動作で起こるといわれています。

昨年度も全国では二十九件の重篤事故が起きており、その内亡くなった方は二十名に上っています。

事故は決して他人事ではありません。標語にあります「安全はまあいいかでは防げない」ということを日々のお仕事の中で、再度ご確認いただきますようお願い致します。

シルバーの就業を通じて皆様方の「生きがいづくり」のためにも、事故は一件でも少なく、一人でも減らす工夫を皆様と共に「会員皆様の帰属意識の向上」の一環として実践してまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新入会員研修会



入会説明会と
ビューティーアップセミナー

これまで研修会、講習会や入会説明会など様々な活動を行っています。

(写真は一例です)

令和五年
活動報告



筆耕講習会



スマホ教室



出張入会説明会
(あけのアクロスホール)



手作り品販売



野菜・果物販売



受付

シルバー ふれ愛 フェスタ

令和五年十月二十九日(日)、「シルバーふれ愛フェスタ」を開催しました。
 当日は好天に恵まれ、恒例の抽選会、ピング大会、会員による手作り品や野菜・果物販売、リサイクル自転車販売、バルーンアート、花苗やスーパボールの無料配布などに加え、新たにキッチンカーとからだ年齢測定を実施しました。
 また、今回は駐車場の確保ができたことや広報に力を入れたことで、昨年より大幅に来場者が増え、地域交流や会員同士及び職員との「ふれあい」が深められました。
 しがしながら、会員の皆様の参加が少なかったことが今回の反省点であり、次回に向け、より多く参加していただけるような「フェスタ」に改善していきたいと考えていますので、一層のご支援をお願いいたします。



折り紙・指編み



抽選会



ス=パーボール



ピンゴ大会



バルーンアート



ご協力いただきました会員ボランティア、出展者の皆様のおかげで、盛会の内に終ることができました。
 心よりお礼申し上げます。

趣味の広場

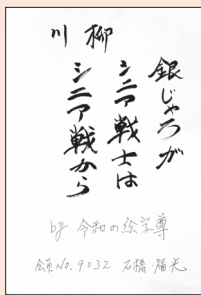


後藤 恒雄さん



発明品!!
股関節の運動ができます

石橋 福光さん



池田 弘文さん

俳句

迷い来て狭庭を逡巡の秋の蝶
 一声の後の静寂秋鶉
 ふるさとへまっすぐ続く蟻の列
 廉太郎の最後の楽譜秋深む
 牛蒡掘る八十路の女の笑顔皺
 作業着にうごめく蚰蜒
 いかにせん
 自治会の祝いの金券敬老日
 泡立草無人の駅を揺らしおり
 青春のあの日を想う薄紅葉
 ひとり来て一期一会の芒原
 「猪注意」皆息をのむ秋の山
 秋の日に甌穴喘ぐ高千穂峡
 借景の鶴見岳を映す秋の湖
 九六位山を踏破せし夜の
 缶ビール
 めらめらと妬心をゆらす
 曼殊沙華
 生野 義香さん

会員手作り品販売

ホットアイピロー
川野 初枝さん



エプロン・袋もの
河合伊津子さん



バッグ・皿
阿南 順子さん



ねこちぐら
戸伏 宏子さん

尺八・面
麻生 勝美さん



木工製品
三原 境子さん



多くの会員の皆様が趣味で
いろいろなものを作っており、
「シルバーふれ愛フェスタ」で
販売しました。

賀正 互助会会長 あいさつ



互助会会長 小浦 良雄 (中島A班)

辰年の新年を迎え、互助会の抱負を述べさせていただきます。新型コロナウイルス感染症の五類移行を考慮して、四年ぶりに研修バス旅行が実施できたことは互助会行事の大ヒットです。今回は、新型コロナウイルスの様子を見ながら、近郊で日帰りではありましたが、四十七名の参加を得て、有意義な「ふれあい」ができました。来年度は、一泊旅行を検討する余地があるとも感じました。

また、初めての試みとして、「軽音楽会(リクエスト)によるライブ演奏」を開催する計画です。後期高齢者が多いシルバー世代にとって青春時代の思い出の音楽をリクエストし、久しぶりに「高校三年生」の気分になりませんか。

これまで実施した互助会行事 研修バス旅行は、十一月八日(水)に豊後高田市「昭和の町」と宇佐神宮に行きました。



昭和の町で“パチリ”



六月十三日(火)に、初めての方から経験者まで二十名の参加で「健康マージャン体験会」を開催しました。

初めての方や初心者を中心に、「入門基礎講座」として定期的を開催しています。



“リーチ・ボン・ロン”



新職員紹介



業務課 剪定・草刈班 野々下 晶子 令和5年6月



総務課 庶務班 南 貴啓 令和5年7月



業務課 派遣班 平松 聡江 令和5年10月



総務課 庶務班 上田 芳世 令和5年11月



業務課 継続・家事援助班 岡田 加奈江 令和5年11月

退職のお知らせ

業務課 剪定・草刈班 羽田野 智子 (令和5年7月)

総務課 庶務班 園田 智美 (令和5年9月)

業務課 継続・家事援助班 唐木 百合子 (令和5年12月)

編集後記

新年号(一月一日号)と言えば、多くの会社や団体では年末に発行し、一月一日に皆様のお手元にお届けしているものと思います。しかし、これまで大分市シルバー人材センターでは、一月二十五日に発行されており、編集委員としては変更の必要性を感じておりました。そうしたことから、今後は年の初めに新年号をお届けし、皆様にご挨拶と新たな抱負をお伝えできるよう変更してまいりたいと考えております。



● 会報編集委員

釘宮 祐一・森永 徹
村山 剛・那賀 美保

シルバーだより

道標 第23号

● 発行/令和6年1月1日

● 発行所/

公益社団法人大分市シルバー人材センター
〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号
TEL 097-538-5575
FAX 097-538-5576

ホームページのご案内
http://oita.o-sjc.com/

